

# 第54回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 開催要項

## 1 趣 旨

学校における食育の推進に向けて、児童生徒に対する食に関する指導のあり方や学校給食の充実方策について研究協議し、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上を図る。

## 2 主 題

『栄養教諭を中核とした学校における食育の推進』  
～ 出会い 奈良から広がる食育の輪 ～

## 3 主 催

文部科学省、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、  
公益社団法人全国学校栄養士協議会、公益財団法人奈良県学校給食会

## 4 協 賛

全国学校給食会連合会

## 5 期 日

平成25年7月31日（水）・8月1日（木）

## 6 会 場

### (1) 1日目

○全体会・展示

奈良県文化会館 (奈良市登大路町6-2) TEL: 0742-23-8921

### (2) 2日目

○分科会

奈良県文化会館 (奈良市登大路町6-2) TEL: 0742-23-8921

公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 (奈良市法蓮町757-2) TEL: 0742-22-6021

奈良県商工会議所 (奈良市登大路町36-2) TEL: 0742-26-6222

奈良市中部公民館 (奈良市上三条町23-4) TEL: 0742-26-6506

分 科 会		会 場
1	単独校	奈良市中部公民館ホール（5F）
2	共同調理場	奈良県文化会館小ホール
3	個別指導	食物アレルギー等 公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 飛鳥の間
4		肥満・痩身傾向等 奈良県文化会館集会室AB
5	特別支援学校	公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 吉野の間
6	学校と家庭・地域の連携推進	奈良県商工会議所大ホール
7	管給 栄養管理	奈良市中部公民館講座室（4F）
8	理食 衛生管理	公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 畝傍の間

## 7 参加者

栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

## 8 内容

- (1) 開会式  
開 会  
国歌斉唱  
あいさつ 文部科学大臣、奈良県教育委員会教育長  
公益社団法人全国学校栄養士協議会会長  
祝 辞 奈良県知事、奈良市長  
次期開催県あいさつ  
閉 会
- (2) 文部科学省説明  
演題 「学校における食育の推進と栄養教諭の役割」
- (3) 記念講演  
演題 「奈良の歴史、古の食文化について」  
講師 龍谷大学文学部歴史学科 教授 浦西 勉 氏
- (4) 実践発表  
主題 「吉野町における学校、家庭、地域の連携を生かした食育の推進」  
～地域の人々との交流を通して生活、学習の中での「食」を見つめよう～  
発表者 奈良県吉野郡吉野町教育委員会 教育次長 表谷 充康  
吉野町立吉野小学校 校 長 鍵谷 壽宏  
栄養教諭 森脇 尚子
- (5) 講演  
主題 「学校給食における食物アレルギー対応について」  
講師 昭和大学医学部小児科学講座 講 師 今井 孝成 氏
- (6) 研究協議（8分科会）  
分科会研究協議題 別紙「分科会研究主題及び協議内容」

## 9 日 程

7月 30日 (火)	13:00 13:30 13:40 14:10 14:20 15:50 17:20									
				主催者 打合会	受 付	都道府県 代表者会	受 付	分科会打合会	実践発表 打合会	
7月 31日 (水)	9:15 10:00 10:50 11:30 13:00 14:00 14:45 15:00 16:30									
	全体会受付	開 会 式	文部 科学省 説明	昼食 展示	記念講演	実践発表	休 憩	講 演		
8月 1日 (木)	9:30 12:00 13:00 15:00 15:10									
	受 付	分 科 会		昼食	分 科 会			閉 会 式		

## 10 主催者打合会

- (1) 日 時 平成25年7月30日（火） 13時00分～13時30分  
(2) 会 場 公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 すずらんの間  
(3) 参加者 主催者、次期開催県

## 11 都道府県代表者会

- (1) 日 時 平成25年7月30日（火） 13時40分～14時10分  
(2) 会 場 公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 畝傍の間  
(3) 参加者 主催者、各都道府県代表者、次期開催県

## 12 分科会打合せ

- (1) 日 時 平成25年7月30日(火) 14時20分～15時50分
- (2) 会 場 公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 飛鳥の間
- (3) 参加者 主催者、司会者、指導助言者、発表者、記録者、運営責任者

## 13 実践発表打合せ

- (1) 日 時 平成25年7月30日(火) 15時50分～17時20分
- (2) 会 場 公立学校共済組合奈良宿泊所 春日野荘 すずらんの間
- (3) 参加者 主催者、発表者

## 14 参加申込み

参加者個人でお申し込みください。なお、複数でのお申し込みの場合は、代表者1名をお決めいただきお申し込みください。

- (1) 申込期限 平成25年6月21日(金)
- (2) 申込方法 「第54回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会参加及び宿泊等申込書」にご記入の上、下記の申込先へFAXしていただくか、本大会ホームページ(<https://v3.apollon.nta.co.jp/zengakuei54/>)からお申し込みください。
- (3) 申込・問い合わせ先  
〒632-0016 天理市川原城町260 川端ビル2階  
(株)日本旅行天理営業所内  
「第54回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会デスク」宛  
TEL:0743-62-3035(大会専用) FAX:0743-62-6267 E-mail:zengakuei\_54@nta.co.jp

### (4) 参加費支払等

#### ①登録確認

【FAXでお申し込みをされた場合】

後日、“登録内容確認(予約確認書)”がFAX返信されます。

お申込み後、一週間を過ぎてもFAXが届かない場合は、上記日本旅行のお問い合わせ先へご連絡ください。

【Webでお申し込みをされた場合】

参加登録完了時に“登録内容確認”のメールが届きます。登録完了時にメールが届かない場合は上記日本旅行のお問い合わせ先へご連絡ください。

#### ②変更・取消

変更・取消は、お電話では受付いたしかねます。必ず書面にてご連絡お願い致します。

お申込後(FAX到着後)の取消については、参加費・昼食代の返金はいたしません。

ご了承ください。

#### ③参加費支払

請求書、大会参加証等が7月上旬頃(お振込済みの方)に代表者あて一括して送付されます。ご請求額を指定の口座へお振り込みください。

## 15 参加費

- (1) 大会参加費 6,000円
- (2) 昼食代 2,400円(1,200円×2日)
- (3) その他 申込後の取消については、参加費、昼食代は返金しませんが、大会誌は研究大会終了後に送付します。

## 16 宿泊

別途奈良県教育委員会より送付される「第54回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会申込案内」参照

## 17 その他

- (1) 分科会会場については、収容能力の関係から変更になる場合があります。
- (2) 駐車場については、確保できませんのでご了承ください。

## 第54回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 分科会研究主題及び協議内容

分科会		研究主題	研究協議内容	発表者	指導助言者
1	単 独 校	学校における食育を推進するための食に関する指導はどのようにしたらよいか。	① 学校や地域の実態を踏まえ、栄養教諭を中心に教職員が連携・協力しながら食に関する指導に係る全体計画を作成するためにはどのようにしたらよいか。 ② 複数校又は受配校を担当する栄養教諭が食に関する指導に係る全体計画に基づき、計画的・継続的に食に関する指導を行うためにはどのようにしたらよいか。 ③ 児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせるため、発達段階に応じた食に関する指導を9年間の義務教育を通じて系統的・継続的に行うためにはどのようにしたらよいか。 ④ 給食の時間における食に関する指導を充実させ、計画的・継続的に行うためにはどのようにしたらよいか。 ⑤ 各教科等において学校給食を生きた教材として活用し、効果的に食に関する指導を行うためにはどのようにしたらよいか。	奈良県奈良市立伏見小学校 栄養教諭 山中 淳代	社団法人全国学校栄養士協議会 名誉会長 田中 信
				鹿児島県始良市立重富中学校 栄養教諭 平田 さおり	武庫川女子大学 講師 藤本 勇二
2	食 共 同 調 理 場	学校における食育を推進するための食に関する指導はどのようにしたらよいか。	① 学校や地域の実態を踏まえ、栄養教諭を中心に教職員が連携・協力しながら食に関する指導に係る全体計画を作成するためにはどのようにしたらよいか。 ② 複数校又は受配校を担当する栄養教諭が食に関する指導に係る全体計画に基づき、計画的・継続的に食に関する指導を行うためにはどのようにしたらよいか。 ③ 児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせるため、発達段階に応じた食に関する指導を9年間の義務教育を通じて系統的・継続的に行うためにはどのようにしたらよいか。 ④ 給食の時間における食に関する指導を充実させ、計画的・継続的に行うためにはどのようにしたらよいか。 ⑤ 各教科等において学校給食を生きた教材として活用し、効果的に食に関する指導を行うためにはどのようにしたらよいか。	奈良県東吉野村立東吉野小学校 (東吉野村立学校給食共同調理場) 学校栄養職員 松田 仁	文部科学省スポーツ・青少年局 食育調査官 濱田 有希
				埼玉県長瀬町立長瀬中学校 栄養教諭 佐々木 規枝	長崎純心大学児童保育学科 教授 松本 和昭
3	関 個 別 指 導	児童生徒や保護者に対する個別な相談指導はどのようにしたらよいか。	① 個別な相談指導を効果的に進めるためには、校内における指導体制の整備をどのようにしたらよいか。 ② 食物アレルギーのある児童生徒に除去食や代替食等の提供をするためにはどのようにしたらよいか。 ③ 部活動などスポーツを行う児童生徒の個別な相談指導や対応はどのようにしたらよいか。 ④ 個別な相談指導を行う場合の学校医、専門医、他の栄養の専門家等との連携を図るためにはどのようにしたらよいか。	新潟県新潟市立上所小学校 栄養教諭 宮田 青美	神奈川県立保健福祉大学 教授 鈴木 志保子
				鹿児島県日置市立鶴丸小学校 (日置市立東市来学校給食センター) 栄養教諭 久保田 晴美	四日市市教育委員会 指導主事 岸根 美絵
4	る 肥 満 ・ 瘦 身 傾 向 の 有 る 児 童 生 徒 へ の 指 導	児童生徒や保護者に対する個別な相談指導はどのようにしたらよいか。	① 個別な相談指導を効果的に進めるためには、校内における指導体制の整備をどのようにしたらよいか。 ② 偏食傾向など食生活の改善を必要とする児童生徒及びその保護者に対する個別な相談指導はどのようにしたらよいか。 ③ 肥満傾向、痩身願望のある児童生徒の個別な相談指導はどのようにしたらよいか。 ④ 個別な相談指導を行う場合の学校医、専門医、他の栄養の専門家等との連携を図るためにはどのようにしたらよいか。 ⑤ 児童生徒とその保護者に対して、個別の継続的な指導を進めるためにはどのようにすればよいか。	愛知県瀬戸市立西陵小学校 栄養教諭 石川 桂子	淑徳大学看護栄養学部 客員教授 田中 延子
				愛媛県四国中央市立新宮中学校 栄養教諭 鶴井 千代	東京都立広尾病院小児科 部長 原 光彦
5	指 導 特 別 支 援 学 校	障害を有する児童生徒の食に関する指導や個別な相談指導はどのようにしたらよいか。	① 障害のある児童生徒に対する食育を充実させるため、食に関する指導に係る全体計画はどのように作成したらよいか。 ② 障害に応じた栄養管理やきめ細かな食事づくり、摂食指導はどのようにしたらよいか。 ③ 児童生徒の自立の一助となる望ましい食習慣の形成を図るため、学校給食を活用した食に関する指導はどのようにしたらよいか。 ④ 家庭との連携を図りながら、個々の障害に応じた食に関する指導はどのようにしたらよいか。 ⑤ 偏食傾向など食生活の改善を必要とする児童生徒及びその保護者に対しての個別な相談指導はどのようにしたらよいか。	奈良県立ろう学校 栄養教諭 荒木 さと子	茨城キリスト教大学 教授 大和田 浩子
				広島県立三原特別支援学校 栄養教諭 富岡 真弓	大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課 指導主事 寺中 純子
6	学 校 と 家 庭 ・ 地 域 の 連 携 推 進	学校と家庭・地域との連携を深め、学校における食育を推進するためにはどのようにしたらよいか。	① 家庭・地域に対し、食育の中心である学校給食への理解を深め、積極的に連携を図るためにはどのようにしたらよいか。 ② 家庭や地域と連携を深めながら、望ましい食習慣を形成するための食に関する指導はどのようにしたらよいか。 ③ 地場産物の活用や郷土食の導入など、地域の特性を生かした学校給食を実施し、地域と一体となって食文化の継承や健全な食生活の実現を図るためにはどのようにしたらよいか。 ④ 家庭・地域の実態に応じた食に関する指導を行うためにはどのようにしたらよいか。	香川県多度津町立多度津小学校 (多度津町学校給食共同調理場) 栄養教諭 中尾 しのぶ	公益社団法人全国学校給食栄養士協議会 会長 長島 美保子
				奈良県奈良市立富雄北小学校 学校栄養職員 小堀 富子	山形県教育庁スポーツ保健課 主査 齋藤 るみ
7	給 食 栄 養 管 理	児童生徒の体格及び活動レベル並びに地域の実情等に配慮した栄養管理を行うためにはどのようにしたらよいか。	① 児童生徒の家庭や学校給食におけるエネルギー及び各栄養素の摂取状況の把握はどのようにしたらよいか。 ② 児童生徒の個人差に応じた栄養管理はどのようにしたらよいか。 ③ 栄養管理に関する評価はどのようにしたらよいか。 ④ 食に関する指導の生きた教材となる学校給食の献立作成及び調理技術の向上を図るためにはどのようにしたらよいか。	福井県坂井市立三国学校給食センター (坂井市立雄島小学校) 栄養教諭 岡崎 知美	文部科学省スポーツ・青少年局 学校給食調査官 江口 陽子
				石川県宝達志水町立押水中学校 栄養教諭 北出 宏予	大阪市立大学大学院 教授 由田 克士
8	管 理 衛 生 管 理	学校給食の衛生管理を徹底するためにはどのようにしたらよいか。	① 児童生徒に対する衛生指導の充実を図るため、学級担任との連携や教育活動への位置付けはどのようにしたらよいか。 ② 食事内容の多様化に対応できる施設設備の改善、調理、配送、配膳、会食等の衛生管理はどのようにしたらよいか。 ③ 安全な調理のための施設設備の改善やドライシステムの導入、ウェットシステム調理場におけるドライ運用はどのように進めたらよいか。 ④ 衛生管理に配慮した献立作成や調理従事者の個別の健康記録、作業工程表、作業動線図の整備など、安全な学校給食を提供するための研修や指導はどのようにすればよいか。	福岡県福津市立神興東小学校 栄養教諭 宮崎 涼子	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授 勢戸 祥介
				福島県会津坂下町立坂下中学校 (福島県会津坂下町立学校給食センター) 栄養教諭 二瓶 美智子	熊本県教育庁教育指導局体育保健課 指導主事 原田 力子